

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行：武笠真次
 〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集：澤藤俊昭
 TEL・FAX 048-838-0640
<http://www.tozans.justhpb.jp/>

目次

- 1 p) 沢ネット 初級沢登り参加記
- 2 p) 〃、レスキュー講座案内
- 3 p) 登山学校・第4回講座
「山での救急法」終えて
- 4 p) 救助隊役員会、告知板
- 5 p) 夏山追想 所沢ハイク
- 6 p) 北海道・旭岳～トムラウシ山縦走
- 7 p) 夏山情報、他
- 8 p) 理事会報告、他



日光・半月山から
(2011.10.16)

沢登りネットワーク報告

初級沢登り・・・沢に泊まって楽しもう！

「中津川支流 大滑沢より白泰山へ」秩父山系

期日：2012年8月25日(土曜)～26日(日曜) 1泊2日 車利用
 参加者：徳重(リガー)、小林、後藤、森田、近藤
 コースタイム：8/25 大滑橋9:30→営林署小屋付近15:00
 8/26 営林署小屋付近7:00→尾根(白泰山登山道)11:20→栃本上部林道13:30

企画会議では、沢登りの一般的な事から、今回の大滑沢の様

8月20日(月)19:30～20:30
 《山行企画会議》参加者6名
 担当理事の徳重氏より、沢登りに関する注意、必要な装備の説明、大滑沢コースの説明、集合場所、費用、等の説明。

『沢ネットは学校では無いから、自分たちが主体でやらなければいけない』と聞いていたので、予定コースの大滑沢の資料を探すが難しい。インターネットでは沢登りの詳しい山行報告が無い。溪流釣りの報告はいくつか見つかるがあまり参考にならない。やっと、隣の市の図書館で「奥秩父・両神の谷100ルート」を見つけて読む。企画会議でもこの資料が使われた。

「日帰りの沢登りは先輩に3回連れて行ってもらいました。一般登山でテント泊りの経験はありません。53歳です。」に対し「・・・まあ、大丈夫でしょう」とのお答えを頂き、「行くしかない」と決意しました。

「ビクビクしながら申込み：県連ホームページで「沢ネット参加者募集」を見つけ、熟慮の末、清水の舞台から懸垂下降する気持ちで参加を申し込みました。会の先輩から『沢ネットは厳しいぞ』と聞かされていたので、ビクビクしながら電話をしたが、徳重氏はとても優しい声なので安心しました。



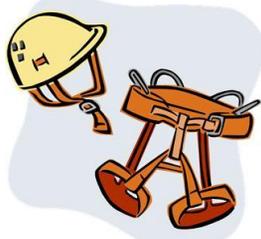
子まで、詳しく説明して頂いた。どんな服が良いか？下山の靴は？水は？まで、どんな質問にも答えて頂いた。「自分たちが主体」にはまだまだでした。企画会議に参加した9人のうち、各自の都合で4名が参加できず、5名での山行となった。

山行当日は快晴。天気予報も晴れ続きなので、夕立以外は天気の心配は不要。一週間位は、まとまった雨も降って無かったので水量も安心。
 車1台を下山口に置いてから、大滑沢に向かう。沢沿いの山道を少し歩いてから沢に降りる。ここから先が大苦戦、遡行図はあるが、現地と照合出来ない、ともかく前の人に続いて行くのみ。しまいに、足を滑らせ、頭を岩壁にぶつける。頭はヘルメットで全く大丈夫だったが、首と心にショック。みなさん御心配おかけしました。

熊に遭遇もして：もうすぐ営林署小屋付近かなという頃に、先頭から「臭いね」の声、営林署小屋のトイレが近いのか？と思ったが、沢筋の20メートル位先に真っ黒な先行者を発見。
 真っ黒・・・人間じゃない『熊だ』との声が早いから、先にクマが気が付いたか、一頭のクマが左岸高くまで駆け登るのが見えた。もう一頭が、食べかけの獲物をくわえて同じ左岸を10mほど登って茂みの中で止まった様子。獲物をくわえて登り切れなかったのだろうが、こっちを狙って無いとも限らない。たまたま対岸に巻き道があり、「熊さん、こっちに来ないで」と声をかけながら逃げる。



しばらくして沢に降りると、こんどは子鹿を発見。小鹿もびつくりして逃げる。しばらく笛を吹く様な鹿の音が続く、親子がはぐれてしまったのか？びつくりさせてゴメンなさい。こっちも、びつくりしたので。
 すったもんだの末に営林署小屋を発見。付近にタープを張り、薪を集めキャンプの準備をする。沢は天然のクーラーだ。この真夏にたき火がうれいとは感激。隣のテントに気を使う事も無い沢のキャンプは最高だ。この歳になっても初めての経験で感激できるとはうれしい。
 もし、沢登りを食わず嫌いの人は、人生の楽しみを食べ残しているかもしれませんよ。



白泰山山頂には登らずに、ま
つすぐ栃本方面に下山する。下
山途中で、茂みの中で「ガサゴ
ソ」・・・熊か？思わず同行者
の女性を楯にして隠れる。熊は
姿を見せなかったが、私のとつ
さの行動が下山するまで非難の
的になる。人間は緊急事態に本
性が出る様だ、気を付けよう。
・・・最後はバテバテだつた
が、とにもかくにも、無事下



心行くまでシャワーを浴びて
大満足の遡行。
2日目は、上部からロープで
確保してもらって滝を2ヶ所登
らせてもらう。もうひとつは「こ
こは、ノーザイル」とのリーダ
ーの号令で、必死で登る。心行
くまでシャワーを浴びて大満足
樹木が減り、谷が明るく感じる
様になったあたりで遡行終了。
水を汲んで、右岸の土手を登る、
ここのヤブは薄いそうだが、急
斜面の登りとあわさりヘトヘト。
ギブアップ寸前で登山道に出る。
「こんなに歩き易い登山道は、
とつてもありがたい」と、初め
て知った。

埼玉労山

第2回 沢登りネットワーク 山行案内

秋の沢登り 二つの沢をつないで笠ヶ岳登山

「湯檜曾川支流東黒沢・ウツボギ沢から

谷川連峰・笠ヶ岳へ」

月 日 9月29日(土)～30日(日) 1泊2日

企画会議

9月24日(月)19時30分～ 浦和パルコ 9F に於いて

【問合せ・申し込み先】 担当理事 徳重博文 (大宮労山)

TEL 048-664-6154 携帯 090-8841-6482

- ① 沢登りは登山の中でも、大変危険なジャンルです。山行企画会議に参加し、十分注意して登りましょう。
- ② 山行企画会議で予習しながら計画を立てます。
- ③ 労山新特別基金に10口加入をお願いします。



山。足を引く張る事が多く、ゴ
メンナサイ。でも、とつても楽
しく、収穫のあつた沢登りでし
た。御指導頂いた徳重理事と、
御同行頂いたメンバーの皆様に
感謝いたします。
新座山の会 近藤 記



埼玉県連盟救助隊

「セルフレスキュー 机上・実技講習会」のお知らせ！

「登山道から転滑落したら

あなたは、又、あなたのパーティは何ができますか？」

埼玉県連加盟団体の皆様には、お元気で山登りをされておられることとご推察申し上げます。また、日頃の県連盟の諸活動へのご協力に深く感謝申し上げます。さて、埼玉県連救助隊では下記のとおり「セルフレスキュー机上・実技講習会」を開催いたします。お忙しいなかではありますが、ぜひ参加をお願いいたします。

◎机上講習

日時：10月20日(土) 13:00～17:00
場所：高鼻コミュニティセンター
さいたま市大宮区高鼻町2-292-1
TEL048-644-3360

募集人数：15名

＜講習内容＞

ハイキングパーティが登山道から転滑落した場合の想定でのセルフレスキュー

＜必要装備＞(持っている人) ソウンスリング 120cm、60cm、環付カラビナ2、カラビナ2

(持っていない人) 救助隊で貸与します。

◎実技講習

日時：10月21日(日) 9:30～15:00
集合：西武秩父線 高麗駅前 午前9:00

場所：日和田山

募集人数：15名

＜講習内容＞

机上での講習をふまえての実際でのセルフレスキューを体験する。

【連絡・問い合わせ】 県連盟救助隊事務局

Eメール：尾手 ote@mrg.biglobe.ne.jp

長谷川 hasegawa-tyk@tbb.t-com.ne.jp

※救助隊員は10月20日(土)の机上講習での事前講習を行いますので高鼻コミセン前に午前9:00に集合願います。



登山学校・第3回講座

「山での救急法」

8月4日 机上
カルタスホール
参加者 31名

8月5日 実技
奥武蔵・日和田山
参加者 32名



ないのでもとても良い経験になったと思います。使わないうとすぐに忘れてしまいそうなロープワークなどは、暇なときは手近にある紐などを利用して体に覚えさせておきたいです。そして、今後、実際に救助をしなく



な感じで机上学習を終了しました。翌日の実技は雨が懸念されたこれまでの2回とは異なり、雨の心配は皆無の晴天。山の麓にある広場でいつもの準備体操をしてから昨日のロープワークの

○机上学習(1日目)

ダミーを使用しての心肺蘇生法、止血法、応急手当、三角巾の使用法、簡易ハーネスの作成、ロープワーク

○実技学習(2日目)

セルフレスキューの為のロープワーク、ロープを使った救助、搬送方法

「山での救急法」を体験して

受講者 渡辺敦司 記

登山は、自然を相手にしているだけあって、いくら安全を心がけていてもアクシデントが付きものです。幸い、救助をしなくてはならない場面に遭遇したことはまだありませんが、今後いつそのような場面に出くわすかわかりません。今回の講義では、病気や怪我などのアクシデントの際、正しい対処ができるよう、救急法を学びました。



始めは三角巾の使用。救急セットの中には絶対に入っているが、いままでまったく使ったことがないアイテムです。たたみ方や結び方にもコツがあり、練習が必要ですが、三角の布1枚で色々できることに驚きました。ダミーを使用しての心肺蘇生法では、圧迫する際の手の位置や角度、人工呼吸をする際の気道確保の方法など細かい注意点が、テンポ良く的確に圧迫する事が、簡単そうに見えて、難しいということが身をもって体験できました。ロープワークでは、次の日の実習で使うロープスリングやテープスリングを使つての簡易ハーネスの作成、ムンターヒッチやクレムハイストノットのやりかたなどを学びました。ハーネスの作成は簡単だが、すこし結び方を間違えると結び目が移動してしまふなど、うっかりしてしまいそうなポイントが多々ありました。

二日目は、班に分かれロープを使つての実習です。木に支点を確保して、ムンターヒッチで懸垂下降、その後クレムハイストノットを使い登り返すという練習をくりかえしました。ロープに体を預けるといふ行為も、練習を重ねるうち徐々に力を抜いて行えるようになりました。欲を言えば、もう少し傾斜のあるところでも練習できればさらによかったです。

救助者の引き上げでは、ガルダーヒッチのやり方に戸惑う場面もありましたが、1/3システムを利用すると、直接引き上げるのでは、必要とする力が如何に違うかを班の皆で体感することができました。

さらに、搬送方法にも色々あり1人で運ぶものから、複数人で行うもの、また、ザックやポール、服など道具を利用して担架や松葉杖などを作る方法など、

知っておかなければならない事から、知っておくと得な事まで、沢山の事を学ぶことができました。二日を通して、山での救急法を学んできましたが、このような事は普段なかなかやる機会が

ではならない場面に遭遇した際、今回の経験が少しで活かされればと思います。

「山での救急法」を体験して

受講者 梶美幸 記

人見知りの自分もそろそろ登山学校受講生のみなさんの顔と名前が一致してきた第3回目の講座は「山での救急法」でした。講師は伊藤正勝先生で、8月4日(土)に北浦和カルタスホールで机上学習、翌8月5日(日)に西武秩父線・高麗駅から徒歩30分の日和田山で実技学習が行われました。

机上学習の日、いつものように会議室に入ると、円形に並べられた椅子の真ん中に2体の心肺蘇生練習用マネキンが横たわっていました。まずは伊藤先生のお手本を見て、それから男女に分かれて練習。胸骨圧迫にはけっこう力が必要で、30回の

胸骨圧迫と2回の人工呼吸を2セットし終わると、みんなふうくと思わず一息ついていました。その後は三角巾の使用法について。三角巾を四つ折りにして頭に巻いたり、足に巻いたり、広げて腕を吊ったり。これはペアを組んで練習しました。ここで肝心なのが「本結び」。この結び方で結ぶと、結び目の片方を引っ張ってから結び目を持つて反対側を引き抜くと不思議なことになると解けるのです！本結びは日本の伝統的な結び方だそうで、素晴らしい日本人、そして、三角巾って便利なんだな」と感心。

そして、この日一番悪戦苦闘したのが最後のロープワーク。入校式の日を用意するように言われ、何に使うのかもわからず購入したカラビナ、スリング、ロープが初出動です。先生が「これが○○ノットで」といながらロープを自在に操って、さらりと結び目を作る。やってみましようと言われ、実際にやってみると…できない。何度かやってみてもできなかったけど一晩寝たら忘れそう。そんな



次々に作成し、身近な物を使った搬送方法の紹介



救助隊 第4回役員会報告

をしてくださいました。手持ちのものでこんなこともできるのかと感心の連続。

講師の先生によると、今回のロープワークはあくまで最低限の装備で救助する方法で、実際は結んだのと同じ働きをする道具を使用するそうです。先生方が持っている画期的な道具を見て、自分も欲しくなりました。

2日間ロープに魅了されながら「山での救急法」の講義を終えましたが、今回の講義内容を再度実践することが無いよう、安全に山を登っていきたいと思います。

運営委員会の皆様、同期生の皆様、ありがとうございました。次回も楽しみに参加させていただきます。



日時 2012年9月3日(月)

19:30~20:30

場所 浦和パルコ 9階

出席者：(7名)

徳重、柴山、尾手、小島、谷脇、水谷、安田

議題

1、セルフレスキュー

机講習会について

期日 10月20日(土)

場所 高鼻コミセン

3F第6・7会議室

時間 13:00~17:00

① 県連への案内

「登山道から転落したらあなたは、又、あなたのパートナーは何ができますか？」のテーマで事務局より案内を各会へ送付。(尾手作成)

② 救助隊員は高鼻コミュニティセンター前に9:00に集合し近くの公園で事前講習

③ 必要装備：ソウンスリング 120cm、60cm、環付カラビナ2、カラビナ2(持っている人) 持っていない人は救助隊より貸与

2、セルフレスキュー

実技講習会について

期日 10月21日(日)

集合 高麗駅 午前9:00

実技場所：日和田山

尚、上記どちらでも参加OK

3、岩場搜索と搬出技術学習会

期日 10月22日(月)

場所 浦和パルコ10F7号室

4、岩稜上の搜索学習

期日 11月11日(日)

場所 西上州マムシ岳

集合場所：下仁田「道の駅」

午前8:00↓移動↓現場 内容：懸垂下降30m、登り返し、引き上げ、引き下ろし

装備：ロープ、本、ストレッチャー

5、その他

① 埼玉県連内でヘリ救助2件

*7/13~16 飯豊連峰・三国岳

足首骨折(浦和山の会1名)

*8/18 会津駒ヶ岳・下ノ沢

荒天沢増水立往生(埜歩歩

富士見山の会3名)

② 全国連盟より参加要請あり
長瀬オーバーナイトテントブ
オーラム(9/29,30)へ救助隊
員の参加

*次回役員会は
11月5日(月)パルコ9階
事務局 若木



第12回 東日本女性登山交流集会

期日 10月13日(土)~14日(日) 一泊二日

会場 赤倉温泉「あべ旅館」 山形県最上町

参加費 1万円

内容 10/13(土) 講演会&交流会

講師 登山医学界 野口いづみドクター

保健学博士 石田良恵先生

高桑順一氏(神室連峰の自然を守る会)

10/14(日) 神室連峰交流登山

主催 日本勤労者山岳連盟女性委員会

主管 山形県勤労者山岳連盟

*埼玉県連女性委員会の取り組み!

8/29 現在 19名参加する予定です。

まだ、参加出来ます。希望者は全国連盟に早目の申し込みをお勧めします。

一人でも多く参加し、自然や文化の豊かな最上町でお会いしましょう。

*神室山は素晴らしいところです。

第16回 全国登山者自然保護集会

大気環境問題の現状と山岳環境保全について考える

期日 11月17日(土)~18日(日) 一泊二日

会場 大阪府高槻市・現代劇場、高槻京都ホテル

参加費 10,500円(宿泊代、資料代)交流会費別

締め切り 10月31日

内容 10/17(土) 受付12:00・開会13:00

基調報告、記念講演、連盟報告

講師 兵庫県立大学環境人間学部教授

河野 仁 氏

夕食&交流会

10/14(日) 分化会、交流ハイク登山

主催 日本勤労者山岳連盟 主管 大阪府勤労者山岳連盟

*自然保護について関心のある方の参加協力をお願いします。

現地観察会、ハイキングあり。 一自然保護委員会一

2012年

関東ブロック自然保護交流集会

(再掲)

期日 10月27日(土)~28日(日)

場所 千葉の山 (未定)

主催 関東ブロック協議会

主管 千葉県勤労者山岳連盟

*詳細は後日お知らせします。

千葉県連が主管しますので、自然保護

について関心のある方、ならび各加盟団体から1名位の参加協力をお願いします。現地観察会、ハイキングあり。

「放射線と登山道」

放射能汚染調査報告集 一般書店販売 開始

労山会員 購入希望者はまとめて注文を!

一自然保護委員会一

加盟団体の夏山記録から

夏山 追想

憧れの北海道・旭岳～トムラウシ岳縦走

期日 2012年7月13日(金)～17日(火) 4泊5日

メンバー C.L 永岡 S.L 谷田 大館 奥村 野瀬 清水 大江 計 7名

(所沢ハイキングクラブ)

昨年、天候悪化による暴風雨に見舞われ撤退を余儀なくされ、今年はそのリベンジ！
今年も天候にも恵まれ、やっと憧れのトムラウシ山の山頂に立つ事が出来た。

7月14日(土)
あくる朝、どんよりとした空は変わらず、ついに小雨が降ってきた。ロープウェイ発着駅からカッパの着用となっていました。姿見池でも写真も撮らず黙々と登る。去年の撤退が頭をよぎる。
しかし、6～7合目頃から急に青空になってきた。見る見るうちに周りの景色がはつきりと、

7月13日(金)
今年もまた旭川空港に降り立った。昨年は本州の梅雨明けと共に北海道にきたので、前線と一緒に持ってきてしまった。そのため雨にたたられ、縦走をあきらめざるを得なかった。
今年は何とか天候に恵まれ縦走し神々の遊ぶ庭を見てみたい！！
気持ちはやるが、どんよりとした雲が垂れ込めている。ホテルに着き、買い物に出かける頃にはとうとう雨が降り出した。ああ、早くも去年の撤退が頭をよぎる……。



主峰 旭岳山頂 (2,290m) にて



イワウメ



リンドウ



白雲岳への道はチングルマの群落



背景は熊ヶ岳の稜線



白雲岳東側斜面の雪渓



白雲岳山頂から北海岳方面



白雲岳避難小屋とテント場

白雲岳避難小屋とテント場
ここぞ今日の歩行のやつと半分。まだ先は長い。五色岳を過ぎるころから、ハ

また足元に咲く小さな花も色が鮮やかに見えるようになってきた。
こうなると私たちの気持ちも明るく弾んでくる。にせ金庫岩、金庫岩を横に見るとすぐに旭岳の頂上に到着。皆最高の笑顔でカメラに収まった。他の登山者の声も弾んでいた。
旭岳の急な下りの後、すぐに大きな雪渓が待っていた。滑らぬように踵に力を入れるも、アイスバーン気味の所もあり緊張した。
間宮岳に向かう頃から、花が現れてくる。チングルマ、イワヒゲ、ラーン美しい。

この先トムラウシ山までどの位の花に巡り合えるかと思うと心が弾んでくる。
間宮岳から北海岳分岐と進んで来る。
ここは昨年、白雲岳避難小屋で暴風雨に見舞われ撤退を余儀なくされた時、この分岐点から旭岳とは反対の黒岳経由で下山をした所である。
やがて白雲岳分岐にたどり着く。白雲岳まで片道30分、登るかどうか意見が分かれたが、結局分岐にザックをデポし登ることとなった。頂上近くが岩場の見晴らしのいい山だった。
少し行くと、赤くかわいいう白雲岳避難小屋が小さく見えてきた。テント場ではカラフルなテントがすでにいっぱい張られている。急がねば……。

遠くに青く輝いて見えた。なんと美しい形なのだろうか。皆あたりが薄墨色になるまで立ちつくし眺めていた。
ぐっすり寝込んでしまい、ふと目が覚めた。もう明け方だろうと思ったが、まだまだ夜の二時だった。星が出ているか期待をしてそっと外に出る。そんなに寒くはない！！北の方角はどちらか、ゆつくりと見渡すとありました。北極星を挟んで北斗七星、カシオペア、天のミルクイウエイには白鳥座、織姫と彦星、南にはさそり座まで見えた。ちようど月は隠れ、広い空に満天の星が輝いていた。流れ星に明日の好天を祈った。

7月15日(日)
3日目の朝は快晴だ。朝焼けのトムラウシ山がはつきりと見えた。やはり遠い。今日はヒサゴ沼まで8時間歩かなければ歩き始め。
忠別沼へのなだらかな尾根には大規模なコマクサの群落地があり、皆競ってシャッターを切っていた。燕岳や八ヶ岳の比ではない、もちろんほかの花々も咲き競っていた。
イワブクロ、チングルマ、エゾコザクラ、ヨツバシオガマ、イワヒゲ……。
しかし小屋から近くに見えた忠別岳は遠い。忠別沼は木道があり、濃いブルーの雪解け水をたたえオアシスのようであった。白雲岳避難小屋からすぐ近くに見えた忠別岳は4時間歩きやつとどり着いた。手前はなだらかで反対側は断崖絶壁の特徴のある山だった。
ここぞ今日の歩行のやつと半分。まだ先は長い。五色岳を過ぎるころから、ハ

この先トムラウシ山までどの位の花に巡り合えるかと思うと心が弾んでくる。
間宮岳から北海岳分岐と進んで来る。
ここは昨年、白雲岳避難小屋で暴風雨に見舞われ撤退を余儀なくされた時、この分岐点から旭岳とは反対の黒岳経由で下山をした所である。
やがて白雲岳分岐にたどり着く。白雲岳まで片道30分、登るかどうか意見が分かれたが、結局分岐にザックをデポし登ることとなった。頂上近くが岩場の見晴らしのいい山だった。
少し行くと、赤くかわいいう白雲岳避難小屋が小さく見えてきた。テント場ではカラフルなテントがすでにいっぱい張られている。急がねば……。



テント場からのトムラウシ山遠望



急な雪渓を降りると今日の幕営地ヒサゴ沼にたどり着く。石がごろついていたが、皆で整地をして、ねぐら完成!



ヒサゴ沼の朝



化雲岳(化雲岩) 1,954m



忠別岳下山途中からの
トムラウシ山



先は長くまずは忠別岳を目指して



忠別沼の木道



忠別岳山頂(1,963m)にて



ヒサゴ沼テント場から
雪渓を登る

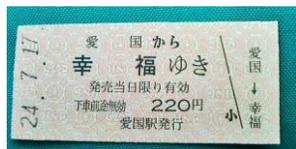
遠くから見た青い美しい山は、険しい岩だらけの火山であった。険しく長い岩場を登り詰め、やっと憧れのトムラウシ山の山頂に立つ事が出来た。皆輝くばかりの笑顔で思い思いのポーズをとり写真に納まった。山座同定をし、来し来し方を眺めた。遥か彼方にスタートの山、旭岳が見えた。本当に長い道程であった。



十勝連峰を見ながら下山



ハクサンイチゲも微笑んで



旧幸福駅駅舎 駅舎内一面の「旅の思い出」 天候に恵まれ幸福駅の文字通りパッピーエンドで終わった北海道の山旅!

下山は一日だったが大変だった。短縮登山口に着くと本当にほっとした。タクシーで新得駅に着くと、駅前の温泉で汗を流し、生ビールで乾杯をした。

その後帯広空港から羽田へと飛び立った。憧れのトムラウシは私たちに最高の景色を見せたくれた。自然の、いいえ神々の造った素晴らしい造形美は心に焼き付き、一生の思い出となる事だろう。壮大な計画をしてくれたリーダーと、共に山旅をしてくれた友に心から感謝したい。所沢ハイキングクラブ

大江 記



エゾコザクラ



チシマキキョウ

チングルマに囲まれて
岩とハイ松が岩を包み、見事な日本庭園を造っていた。あたり一面がごっこつしだした。やっとならうし本体のラウシ本体の登りに入る。

下山は一日だったが大変だった。短縮登山口に着くと本当にほっとした。タクシーで新得駅に着くと、駅前の温泉で汗を流し、生ビールで乾杯をした。

7月16日(月)
次の日は、天候が下り坂という情報を得たので、早めの出発となった。沼から急峻な雪渓を、緊張感を持って登り、やっとならうしに出る。やがて日本庭園に着いた。水をたたえた池と

下山も岩場が続き、足元を注意しながら慎重に下る。そして前方には十勝連峰が望める。そして花はいつまでも私たちを見送ってくれるように、咲いていた。エゾツガザクラやハクサンイチゲ、チシマギキョウが咲き誇っていた。やがてコマドリ沢に差し掛かる途中に、狭く急な雪渓があり、慎重に下った。その後は長い泥沼の道が続いた。



念願のトムラウシ山頂!!
(2,142m)



すぐ脇にはチングルマとエゾノツガザクラ



トムラウシ山(双耳峰)も見おさめ

【加盟団体の夏山情報】②

*大宮労山

- 7/22 南牧村・湯川の岩場
- 7/22~23 奥秩父・小川山
- 7/22~24 北ア・白馬岳
- 7/23 信越・地蔵峠から烏帽子岳
- 7/23 奥多摩・鳩ノ巣・越沢バットレス
- 7/25 信州・池ノ平湿原
- 7/25~27 東北・鳥海山
- 7/25~27 北ア・槍ヶ岳
- 7/25~29 北海道・十勝・オプタテシケ山〜トムラウシ山
- 7/25~30 南ア・赤石岳〜奥茶臼山
- 7/26 西上州・荒船山
- 7/27~29 上越・湯檜曾川本谷
- 7/27~29 甲府幕岩・つづら岩
- 7/28~30 八ヶ岳
- 7/29 鹿沢・村上山
- 7/29 北信州・八剣山と高標山
- 7/29~30 奥日光・鬼怒沼
- 7/30~8/2 北ア・槍ヶ岳〜表銀座縦走
- 7/30~8/8 北海道・幌尻岳、雌阿寒岳、斜里岳、羅臼岳
- 8/ 1 長野・小川山
- 8/ 1~3 北ア・蝶ヶ岳
- 8/ 2~6 東北・朝日連峰〜化穴山
- 8/ 3~5 湯川クラック・つづら岩
- 8/ 3~6 北ア・白馬岳、清水岳
- 8/ 4~5 上越・赤谷川沢沢
- 8/ 4~6 木曾御嶽山
- 8/ 6~8 北ア・白馬岳、小蓮華岳
- 8/ 8~11 南ア・赤石岳、荒川三山
- 8/10~13 谷川・赤谷川・センの沢
- 8/11 奥秩父・小川山
- 8/11 湯川クラック・つづら岩
- 8/14 北信州・破風岳、土鍋山
- 8/14~19 越後駒ヶ岳・佐梨川・大チョウナシ
- 8/17~19 奥秩父・小川山
- 8/18 秩父・二子山
- 8/18~19 南ア・甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳
- 8/19 安蘇・古賀志山
- 8/19~20 日光・大真名子山・子真名子山

*こまくさ山の会

- 7/ 8 信州・高峰山
- 7/ 9 信州・霧ヶ峰、四阿山
- 7/ 7~12 北海道・幌尻岳、富良野
- 7/11, 23 鹿沢・湯の丸山、烏帽子岳
- 7/16, 22 小浅間山
- 7/16 上越・谷川岳
- 7/24 浅間・黒斑山
- 7/28 奥武蔵・棒の折山
- 7/27~29 東北・岩手山、秋田駒ヶ岳
- 7/29~30 北ア・唐松岳
- 8/24~26 北ア・針の木岳、蓮華岳
- 9/ 1 富士山

*三郷山の会

- 8/17~29 カナディアンロッキー
- 8/26~ 27 富士山
- 8/26 大蔵高丸
- 8/28~ 29 日光・奥鬼怒沼
- 8/28 奥多摩・御岳山
- 8/28~30 南ア・甲斐駒/仙丈ヶ岳
- 9/1 群馬・吾妻山〜鳴神山
- 9/2 ~3 富士山
- 9/3~ 5 富士山
- 9/8 ~9 荒船山・根子岳
- 9/9 中央線沿線・高柄山~ 棚ノ入山
- 9/9 中央線沿線・権現山
- 9/9 丹沢・源次郎沢
- 9/12 金時山
- 9/15~17 南八ヶ岳
- 9/16~17 会津駒ヶ岳

*上福岡山なみハイキングクラブ

- 7/31~8/1 東北・月山
- 8/19~22 北ア・剣岳〜立山

*北本山の会

- 7/21~31 スイス・マッターホルン
- 8/ 4 信越・鼻曲山
- 8/ 2~5 南ア・白根三山
- 8/24~26 北ア・西穂高岳、焼岳

*所沢ハイキングクラブ

- 7/13~17 北海道・大雪〜トムラウシ山
- 7/21~22 東北・会津磐梯山
- 7/26~29 東北・飯豊山縦走
- 8/ 3~6 北ア・針の木岳、蓮華岳
谷川連峰縦走
- 8/18~19 秩父・和名倉山
- 8/25~26 南八ヶ岳・赤岳
- 8/29 奥多摩・海沢滝巡り
- 9/ 9 上州・三峰山

*新座山の会

- 7/20~8/1 シャモニー モンブラン
- 8/ 2~4 頸城日火打山〜妙高山
- 8/ 3~8 北ア・奥又白池〜前穂高岳
- 8/ 4~6 北ア・奥穂〜西穂高岳縦走
- 8/ 4~7 北ア・薬師岳・黒部五郎岳
- 8/ 5 東北・早池峰山
- 8/ 8~10 北ア・上高地〜霞沢岳
- 8/10~12 富士山
- 8/10~11 谷川連峰馬蹄形縦走
- 8/12~13 八ヶ岳 赤岳〜阿弥陀岳
- 8/11~15 北ア・奥穂〜前穂、蝶ヶ岳
- 8/14~16 北ア・白馬岳
- 8/10~20 北海道・羅臼岳、幌尻岳、他
- 8/18~19 足尾 庚申山・皇海山
福島・会津駒ヶ岳
- 8/25 草津・三壁山〜エビ山
- 9/15~17 北ア・蝶ヶ岳集中

*熊谷トレッキング

- 8/11~12 東北・葛根田川遡行
- 8/10~13 北ア・立山〜薬師、雲の平
- 8/11~12 富士山
- 8/15~16 キナバル山
- 8/19 信越・佐武流山
- 8/24~26 北ア・大日岳集中

*前号で大宮労山の情報を所沢HCに一部重複して記載してありました。訂正してお詫び申し上げます。
(尚、この情報は会報・HPより検索・転載致しました。重ねてご了承願います。)

日本山岳レスキュー 主催

「長瀨オーバーナイトテントフォーラム」

期日 9/29 PM 13:00~9/30 AM
場所 長瀨・フォレストサンズモンベル店、元気プラザ

内容 9/29 開会式、モンベルによる講座 (フォレストサンズテントサイト)

- ・テントの使い方および最新のテントについて
- ・テントや発電機付きストーブなどご紹介
- ・新製品の販売、購入方法の説明

分科会と講習会 (げんきプラザ、雨天時体育館)

A1:セルフレスキュー A2:応急手当 B1:「ゆる」登山の勧め B2:山食(レトルト味見) C:ツリークライミング

※ 講習会はげんきプラザにて開催。申込時にAかBの講習会の希望を受けつける。

げんきプラザ施設説明・夕食 (フォレストサンズテントサイト) 食事はカレー100人分準備

ナイトウォーク 20人 金ヶ岳 ②夜間設営の練習 60人 (フォレストサンズテントサイト)

懇親会 (希望者のみ、フォレストサンズテントサイト) 就寝(テント、ツェルト、タープ、寝袋、レスキューシート)

9/30 各自朝食 (朝食は各自持参) 分科会 (A.B.C) 閉会式、抽選会

募集人数: 宿泊100人、日帰りも随時受け付け、スタッフ別) 参加費用 3,000円(泊まり) 日帰り1,000円

募集方法 各団体HP、ショップへ依頼、受付は日山協と労山事務所 募集〆切り 9/20日(同日幹事会開催)

理事会報告

第6回理事会が8月29日(水) 県連事務所で13名の出席で行われました。

*全国連盟活動

・8/28 新特別基金運営委員会 17件審査、認定・上福岡やまなみEC:北本自然観察公園

・給付申請で添付計画書が提出日と受理日が明示されていない場合が多い。各会での徹底をお願いしたい。

・9/1 全国個人会員制スタート 「個人会員制度規定」「安全サポートシステム」の基本形、「個人会員遭難事故対策補償制度」の概要と規定も完了

・個人会員制度HP整備に加えて、ポスター、パンフレットのデザイン、イラストなど作成も完了。入会手続きリーフレット作りも進んだ。

*県連全体活動

【事務局】

・労山カレンダー注文 250部

・加盟団体調査票 11未

・関東ブロック自然交流集会

10/27・28 (主管:千葉県連)

【財政】

・連盟費:未納3団体(8/29現)

【機関紙】180号発行。

【HP】各委員会活動掲載

・各 HP担当者の協力を

【女性】

・東日本女性登山交流集会

参加状況報告:現在 19名

【ハイキング】

・全国HC学校 9/22~23 浦和山の会から1名参加。

・地図読み実践山行 2/17.3/3 講師:平塚晶人 予定、会費:2千円位、人数により2回で詳細は後日に。次回委員会 9/26。

【自然保護】

・放射線測定機器貸出します。積極的に測定を。

・10/27~28 関東ブロック自然保護集会(千葉県) 参加を。

【海外】8/17~8/29 カナダ(単独バックパッキング)三郷山の会(1名)

【遭難防止・安全教育】

・遭難事故2件

・浦和山の会(飯豊・三国岳) 笠歩富士見(会津駒下の沢)

【救助隊】役員会 9/3

・セルフレスキュー講習会

机上:10/20(土)高鼻コミセ

実技:10/21(日)日和田山

・岩場搬出救助訓練

学習会10/22(月)浦和パルコ

実技 11/11(日)

西上州マムシ岳

【登山学校】6/4運営委員会

・第3回講座「山での救急法」

8/4机上(32名)

8/5実技(31名)日和田山

・第4回講座「地図の読み方」

9/1机上9/2「神楽山・菊花山」

【岩ネットワーク】

・8/18日和田山RCI9名参加

途中、川越市室内RCIへ移動

・10/27or28 日和田RCI

【沢登りネット】

・8/20企画会議 浦和パルコ

・初級沢登り

「沢に泊って楽しもう!」

期日 8/25(土)~26(日) 場所 中津川支流・大滑沢 白泰山(秩父山系) 参加:5名

・秋の沢登り

「11の沢をつないで笠ヶ岳」

期日 9/29(土)~30(日)

場所 湯檜曾川支流東黒沢

ウツボギ沢・笠ヶ岳

企画会議 9/24(月)19:30~

浦和パルコ9Fに於いて

【ブロック活動】

西部:次回ブロック会議 9/13

南部:6/21 8/24 ブロック会議

クリーンハイク総括、交流EC

議題

1、安全講演会について

期日 11月18日(日)

受付 13:00~開演 13:30~

会場 高鼻コミセン

会費 500円~ 予定

定員 90~100名

*講師候補:猪熊隆之氏に依頼

するも、先にツアー企画予定

あり、丁重にお断りされました。

講師再選:渡辺 輝男氏

(全国連盟を通して講師依頼)

9/25理事会で決定

2.その他

・日本山岳レスキュー 主催

「オーバーナイトテントフォーラム」 9/29 PM~30 AM

長瀬元氣プラザ

全国連盟より参加要請

次回三役会議 9/5

理事会 9月26日(水)

以上 澤藤

県連機関紙「埼玉労山」原稿募集中

県連に加盟する各山岳会を順番に紹介する「会紹介・会の動き」の原稿を募集しています。加盟している会の特徴やユニークな会活動、また最近の会山行記録等 何でも結構です。また、特集として「わが会得意な山料理・鍋」、「故郷の山、里山」等も随時 募集します。どしどし寄稿して下さい。

題字込み 500~1000 字以内で、写真2~3枚添付で! 版下は9P 1行12字 6段組です。

機関紙委員会 澤藤

Eメール: sawahuzil040yamato@hotmail.co.jp

【編集後記】

残暑厳しい毎日が続いていましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、朝晩には気温も下がり日中でも青空を渡る風が涼しく感じられるようになりました。

これから本格的な秋の季節を迎え、北の山々ではナナカマドや草紅葉等、そしてブナの黄葉も始まり、野山に咲く花もリンドウやアキノキリンソウ、コスモス等といった秋の草花へと彩りをかえ、スキの銀穂もふくらみ始めています。 そうですね、ハイキングを兼ねて毎年訪れていた高麗・巾着田の曼珠沙華も今年は暑さで開花が遅れているようで、夏山に行く機会を逸し、せめて近郊の山に…という気持ちもまた先延ばし!羨ましく加盟団体のHPの山行記録を閲覧させていただいています。 夏と違い日照時間もだんだんと短くなり行動時間も限られて来ます。ハイキングを計画する時は天候にも注意し、無理のない計画をたてましょう。 澤藤

魅惑の山々 2013 第1次締切日 8月30日 第2次締切日 9月10日 その後は随時受け付け ※名入受付 ※第1次は9月中旬に納品 ※第2次は10月中旬に納品 ※その後の申し込みは随時納品



2013年の労山カレンダーのご案内

*1部1,000円です。

*希望の数を添付の注文書により 10月28日までに お知らせください。 1部1,000円です。

*送付先・問合せ先 県連盟事務局

〒361-0023 行田市長野1816-3 木村哲也 TEL・FAX 048-554-3429 携帯 080-1146-7760